泉大津市

決裁日 8 年 9 月 4 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊				＊＊		

起票日	令和 8年 9月 4日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 8 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			
金額	110,835 円		所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	6 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	342,425 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	857,575 円	請求書番号			
源泉支払内容	**********				

件名	10/7～10/9 山形県山形市　第88回全国都市問題会議参加旅費
摘要	堀口議員

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	令和8年 10月06日	
住所				
名称	大阪維新の会代表者　堀口　陽一			
役職等/ 氏名				
銀行/ 口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	大阪維新の会代表者 堀口陽一		

上記の金額を領収しました。 令和8年 10月06日

令和 年 月 日

泉大津市 会計管理者 あて

支払済

支出負担行為確認

1

負担行為番号
08-000397

伝票番号
08-008801

呼出番号
00781278

整理番号
08-000007-06

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

8年9月7日

供覧	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和８年９月３日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　大阪維新の会
代表者名　堀口陽一

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	１１０，８３５円		
内訳	10/7～10/9　山形県山形市 第88回全国都市問題会議参加旅費		
支払先	堀口　陽一		
予算科目	旅費	交付残額	857,575円
使用者名	堀口　陽一		

令和8年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	大阪維新の会	氏名	堀口 陽一
出発・帰庁年月日	出発 令和8年10月7日	帰庁 令和8年10月9日	

出張先（順路） やまぎん県民ホール（山形県山形市双葉町1丁目2-38）

目的及び用件 第88回全国都市問題会議に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
難波		490						490
なんば駅前								
｜（空港リムジンバス伊丹空港線）								
伊丹空港				730				730
〃		JAL2237便						
｜（飛行機）		（往復セイバー）						
山形空港		68,395						68,395
〃								
｜（シャトルバス）					2泊	2日		
JR山形駅				1,500	30,000	7,000		38,500
〃								
｜（シャトルバス）								
山形空港				1,500				1,500
〃		JAL2236便						
｜（飛行機）		（往復セイバー）						
伊丹空港		上記に含む						
〃								
｜（空港リムジンバス伊丹空港線）								
なんば駅前				730				730
難波								
｜（南海本線）								
泉大津		490						490
｜（ 線）							計	110,835
｜（ 線）								
｜（ 線）								

開催時間に間に合わないため10月7日に航空機を利用し前泊する。
10月8日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。
復路も午後に地域において議員活動を行う必要があるため、航空機にて当該行程で出張するもの。

主管課用

令和8年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	大阪維新の会	氏名	堀口　陽一
出発・帰庁年月日	出発　令和8年10月7日	帰庁　令和8年10月9日	

出張先（順路）　やまぎん県民ホール（山形県山形市双葉町1丁目2-38）

目的及び用件　第88回全国都市問題会議に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
難波		490						490
なんば駅前								
｜（空港リムジンバス伊丹空港線）								
伊丹空港				730				730
〃		JAL2237便						
｜（飛行機）		（往復セイバー）						
山形空港		68,395						68,395
〃								
｜（シャトルバス）					2泊	3日		
JR山形駅				1,500	30,000	7,000		38,500
〃								
｜（シャトルバス）								
山形空港				1,500				1,500
〃		JAL2236便						
｜（飛行機）		（往復セイバー）						
伊丹空港		上記に含む						
〃								
｜（空港リムジンバス伊丹空港線）								
なんば駅前				730				730
難波								
｜（南海本線）								
泉大津		490						490
｜（　　線）							計	110,835
｜（　　線）								
｜（　　線）								

開催時間に間に合わないため10月7日に航空機を利用し前泊する。
10月8日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。
復路も午後に地域において議員活動を行う必要があるため、航空機にて当該行程で出張するもの。

右の金額領収いたしました。

金額	¥	十	1	1	0	8	3	5	円

令和　　年　　月　　日

職名　大阪維新の会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　堀口　陽一　　堀印

JAPAN AIRLINES

Web 94da4d0f91f99f24726f0eaf8b43db7f
2026年08月21日 17:07発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

様

金額 **68,395円** （税込み）

但し	**運賃・料金として**
航空券/料金券番号	**1312263860134**
航空券/料金券発行日	**2026年8月21日**
発行所	**日本航空**
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ホリグチ ヨウイチ 様

2026年10月7日（水）　運賃：往復セイバー

16:25 大阪 (伊丹)　クラス：普通席
便名：JAL 2237 | J-AIR運航

17:35 山形

68,395 円

2026年10月9日（金）　運賃：往復セイバー

14:50 山形　クラス：普通席
便名：JAL 2236 | J-AIR運航

16:10 大阪 (伊丹)

合計金額　**68,395円**

開　催　要　領

1．主催者

【主催】全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、
山形市

【協賛】(公財)全国市長会館

2．開催日時・会議の内容(日程　4ページ、講師略歴　5、6ページ)

【第1日】令和8年10月8日(木)　9:30 開会　(受付開始　8:30)
基調講演、主報告、一般報告

【第2日】令和8年10月9日(金)　9:30 開会　(開　場　8:30)
パネルディスカッション、行政視察(事前申込者のみ・有料)

3．開催場所(会場アクセス　7ページ)

やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)
〒990-0828 山形県山形市双葉町 1-2-38　TEL:023-664-2220

4．議題(議題解説　8ページ)

「広域連携による都市圏づくり ～活力ある多極型社会へ向けて～」

5．会議参加費

1名につき　13,000円

※　1日目の昼食弁当代、会議配布資料代等を含みます。
※　会議参加費は、事務局に代わり運営業務委託会社である株式会社JTBが代行収受します。
※　9月 18 日(金)17:00 以降に参加を取消された場合は、会議参加費の返金はできません。
※　悪天候や感染症の影響等により、会議の開催を中止又は開催内容を変更する場合があります。また、その場合も、会議参加費を返金できないことがあります。
※　会議参加費の領収証は、会議当日にお一人様1枚ずつお渡しします。

6．会議の参加・宿泊のお申込み(参加申込方法 16 ページ、宿泊のご案内 23 ページ)

下記の期間に WEB 申込みにより受付します。 16 ページの申込方法を確認ください。

【申込開始日】　令和８年７月２７日（月）　10:00 から
【申込締切日】　令和８年８月　７日（金）　17:00 必着
【会議参加者公表日】令和８年８月２１日（金）　13:00

※　申込者が定員(1,800 名予定)を超えた場合は抽選を行います。
(抽選対象者:市区議会議員(議長及びその随行者は除く)及び議会事務局職員)
※　随行者についても参加申込みが必要です。
※　庁内 LAN のセキュリティ等の関係で参加申込専用ページにアクセスできない方に限り、メールでの受付を行います。(回答は5営業日以内にメールにて行います)

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	令和8年10月29日
差出名	大阪維新の会　堀口　陽一		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	令和8年10月27日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議			
主管 議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員				

処理上の意見及び注意事項

日　時：令和8年10月8日（木）～令和8年10月9日（金）

出張先：山形県山形市　やまぎん県民ホール

目　的：第88回全国都市問題会議に参加

会派代表
堀口

報　　告　　書

令和８年１０月２７日

泉大津市議会議長　様

（会派名）大阪維新の会
出張者氏名　堀口　陽一 堀口

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

１.日　　時　令和８年１０月８日(木)・９日(金)

２.出 張 先　山形県山形市
　　やまぎん県民ホール

３.目　　的　第８８回全国都市問題会議
　　広域連携による都市圏づくり
　　～活力ある多極型社会へ向けて～

４.報告事項　　別紙添付

所　見

第88回全国都市問題会議のテーマは「広域連携による都市圏づくり～活力ある多極型社会へ向けて～」でした。基調講演では、藻谷浩介氏が高齢化社会において何をすべきかについて解説されました。日本の75歳以上の人口は、1975年の280万人に対し、2026年1月現在では2,100万人と、実に約7倍になっています。

こうした人口推移を踏まえ、間違った選択と集中は自治体を滅ぼすという厳しい指摘がありました。過去の歴史を紐解くと、第二次世界大戦中の日本は零戦から戦艦大和へ、現代では東芝が半導体から原子力へとシフトしましたが、戦術的に苦戦を強いられました。選択と集中を間違うと危機的な状況に陥るという説明でした。これを現代日本に置き換えると、教育施策の失敗が他国への後れにつながったと推察されます。

他方で、日本の経常収支は世界第3位を維持しており、さまざまな要因を多角的に分析する必要があります。また、直近10年間の経済成長率では山形県が日本1位で、注視すべき施策があるとの解説がありました。

日本国内の少子化状況を調べると、0～4歳の人口は1975年に比べて37%にまで減少しているので、少子化に対応した教育施策が必要であり、「学級は6人で1クラス」が適しており、仕事においても「6人で1チーム」が望ましいとのことでした。

TSMCが熊本県に進出したことで地方都市が活性化した事例を挙げ、自治体ごとの特性を活かした施策を説明されました。

自治体が果たすべき役割の一例として、東日本大震災における遠野市の後方支援が、内陸部の自治体の特性を活かした実例として紹介されました。

一般報告では、東北芸術工科大学デザイン工学部教授でリノベーション専門家でもある馬場正尊氏が講演しました。「アートはメディアになる」というフレーズのもと、山形市内にクリエイティブカフェを3カ所設置し、デザインカフェとして経営していることが報告されました。

また、山形市内のシネマ通りを活用してエリアリノベーションを行い活性化に成功し、その結果、リノベーションを通じて人財が生まれることが証明されています。ウォーカブルな街で歩くほど幸せになるまちをコンセプトにした結果、山形銀行が協力し、1階にコミュニティスペースを、4階に銀行窓口を設けるという取り組みも紹介されました。クリエイティブな人財を活用すれば、街は活性化します。

観光とは、日常にあるものを一つに繋ぎ合わせて仕立て直すことです。例えば、漬け物をつくる作業を料理教室にして、観光客に体験してもらうなど、既存のマーケットではなく、新しい取り組みにすることで、地域が持つ強みを活かすことができます。今あるものを有効活用することが重要であると考えます。

広域連携は、今現在の利益でなく、20年後、30年後の利益を考えることで上手くいきます。統計はあくまで過去のデータであるため、将来設計を行う際は、将来の人口推移を考慮して計画を立てる必要があります。日本の高齢者人口についても、現在はピークであ

り、今後は減少していくという予測のもと、将来を見据えた制度設計を行っていく必要があると強く感じました。